

なぜかマラソン大会に参加



写真1 走る前の集合写真

こんにちは。前回の小林隊員とは打って変わって全くマンゴーに興味がないヘネラルアルティエーガスで活動中の恵木です。ステイ先ではマンゴーが腐り、臭くて仕方ないので、マンゴーが大好きな隊員が取りに来てくれることを望んでいます。



写真2：マラソン前のエアロビ

12月の上旬にエンカルナシオンで行われたハーフマラソン大会に参加しました。21km、10kmと5kmの3コースがあり、同期の隊員と、たまたま旅行中であった小林隊員の友達と計5名で参加しました。全員当然のように5kmのコースに参加しました。参加費は120.000グアラニー(2400円程)でパラグアイの物価を考えると「高いなあ」と思いながら参加申し込みをしました。しかし、参加賞で服、帽子、タオルと日用品(石鹸や洗剤)が貰えるだけでなく、さらに完走後にメダル、ヨーグルトとおやつが貰えます。景品がたくさんあり、納得の値段でした。18時から開会式があり、19時からスタートという流れで予定されていましたが、パラグアイタイムに慣れている隊員たちは「1時間は遅れるだろう」と考え19時に宿泊予定の宿を出発しました。案の定スタートは遅れました。20時になり参加者が集まり始まるかと思ったら、音楽が流れ始めエアロビが始まりました。南米の人たちは踊り慣れているのか、全員が上手くてびっくりしました。エアロビが始まり20分ほど経過したら、テープの位置に下がってくださいとアナウンスが入りました。ついにスタートかと思いきや、21kmの選手が走りぬけるので下がってくださいという知らせでした。21kmのトップ集団が過ぎたらようやく5kmコースもスタートしました。景品は1人1セットと分けられていますがそれを守る人は少なく、ゴールした人から好き放題とっていくので、遅くゴールすると景品がないこともあるみたいです。女性陣は景品のヨーグルトが欲しいらしく、他の参加者に負けまいと全力で駆け抜けていきました。男性陣はゆっくりと疲れすぎず、完走後のビールが美味しくなるように走りました。



写真 3 : 完走後

完走後合流すると、女性陣は戦利品をたくさん手に入れていました。へとへとになりながらもまだ景品を貰いに行こうとするたくましさすごいなど、男性陣はベンチに座り込んで眺めていました。と言うのも、5 kmコースと言っておきながら恐らく7か8 kmは走っていたからです。景品よりも完走できたことが大満足です。大会終了後、帰る途中にある飲み屋でビールを一杯飲みました。やはりいい汗をかいた後に飲むキンキンに冷えたビールはおいしいです。その後は女性陣の意見でアイス屋に寄ってから宿まで帰りました。宿に帰ると順々に汗を流し、流した人から晩御飯の支度にとりかかりました。マラソンで疲れているにもかかわらず、日付が変わるまで飲み続けました。本当に楽しい1日になりました。みなさんありがとうございます。

パラグアイで同期隊員や先輩後輩隊員に恵まれ、楽しい生活が送れています。また、チリにいる同期隊員も方もパラグアイに遊びにきてくれて、パラグアイを気に入ってもらえたことを日本人でありながら嬉しく感じました。パラグアイは旅行ガイドなどに情報が少ないため、あと2、3回の更新の中でお知らせしたいなと思っています。3月までぜひ読んでください。